

性從者 處理

IN

マ
イ
レ
ー
ム



うう…
こんな…
変態みたいな格好…

あとで絶対ぶっ殺してやる…!!
マスター…!!



三蔵ちゃんの
あの巨乳を見る度に
下半身にすごい
煩惱が溜まるっていうか…

う…

あたしに
任せなさい！

弟子の煩惱を
払うのもお師匠様の
務めだからねー

む

にゅ♡

びく

びく

しょうがないな…
弟子くんの煩惱が
またこんなに
溜まっちゃって…

最近性的な興奮が
収まらなくなった時

凄い…

いつも三蔵ちゃんの
ところに行つて、
処理してもらってる

べろ♡

べろ♡

べろ♡

お師匠様！

お師匠様！

三蔵ちゃんと唾液を
交換しながら
パイズリしてもらい

うん…
いいよー

あんたの好きな
ようにしていいよ

お、お師匠様…
もう我慢できません、
おっぱいの中に出して
もらっていいですかっ

いつ…
出しても
オッケーだよ

結局おっぱいだけで
3回もイッた。
あの谷間の中に
射精するのは本当に
最高に気持ち良かった



気持ちいい
ですか？
お師匠様

お師匠様は後ろから
されるのがお
好きですよ

き…気持ち
いいよ…

また大きく
なってる…
弟子さんの如意棒…

まだ中に
こんなにたくさん
出しまして…

ゴム…
なくなりましたね…
どうしましょうか…

な、
生でも大丈夫だよ…
中に出さなければ…

ああ…!!
弟子さんの
生チンポ!!
深い…!!

あんまり強く
締めつかないで
くださいよ…!!
でないと…!!

お師匠様…

すみません!!
お師匠様!!
俺は…もう…!!

イッちゃう、
弟子に中出されて
イッちゃう…!!

お師匠様…
マシユそろそろ
帰ってきますよ…

うん…
じゃ…

ここまで
だね…

最後に初中出しの記念写真
撮りましょう、お師匠様

じゅるるる

あたし…
お師匠様なのに…

弟子の精液飲みながら
何回も中出しされて♡

こんな変態な師匠で
ごめんなさい…♡♡

そんなこと
ありません！
あなたは最高の
師匠です！

風呂入りましょう、
ちゃんとお師匠様の
お体をキレイにして
あげますから！

うん、
お願いね…

結局風呂場でまた
3回中出したのである

はー♡

はー♡

はー♡

溜まりに溜まった欲求が
すでに心身ともに悪い
影響を与えてしまっている
ので
婦長に特別治療をお願いしてみた

これは現代の治療行為だ…
何も恥じることはない、

ああ、
そうだ!!

ナイチンゲールに
握られながら
彼女の胸に吸い付く

普段あんなに強気な
ナイチンゲールさんが
俺の性欲処理を
してくれている
この事実だけでもう
イキそうだし

ダメだ!
出る!!

誰かが口で
受け止めて
くれないと死ぬ!!

わ、
わかりました…

任せてください!!

助けてナイチ
ンゲール!!

全部…
私の口の中に
出してください…!!

はあ…
これで良い
でしょう…
こんなに
溜まっていた
なんて…

治療が終わり
ましたので、

そろそろ…
放してくれ
ませんか…
マスター…

違うよ、
本当の治療は
今からだよ

まずはナイチン
ゲールさんの口を
消毒するね

無理やり唇を割り、
口内を乱暴に犯し、
強引に責め立てた

はあ…
ご感想は
いかがですか？
ナイチン
ゲールさん
現代の治療？

変な…
感じ…

全身に電流が流れて
いるみたい…
鼓動がすごく早い…

はーっ

こんなキス
みたいな治療…
私…初めてで…

お、
おかしい…？

うう…!!

か、可愛
すぎる!!

ああ!!

待ってください！
マスター！

そこは…!!

キレイに
舐めてあげる！

だだだダメです…
不衛生です…!!

全然大丈夫だよ
ナイチンゲール
のものなら
おしっこだって
飲むさ

すごい
濡れてる…

準備万端の
ようだね!!

な…何バカな
こと言ってる…

舐めるだけで
何回も絶頂して、
最っ高にかわいい!!

初めてだからか、
ナイチンゲールの体は
とてつもなく敏感だった

そんな
イシるとに…

ああ…
ああ…
ああ…

ああ…
ああ…
ああ…

ああ…
ああ…
ああ…

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

了承も待たずに
挿入して、
ベッドに押し付けて
思い切り犯した

はあ!!

あん…!!

はあ…
こ、これは…
治療じゃない…

セックス…
ですよ…

ああそうだ!
だから今から
プロポーズする!!

俺と結婚して
ナイチンゲール!!
絶対幸せに
するから!!

で、でも…
私、まだ結婚して
ないのに…
こんなの…

な…何バカなこと
言って…そんなの…
ダメに決まってる
でしょう…

口調は無愛想だったが、
中は強く締め付けてきた
その反応も
とても愛しかった

動物が交尾しているような
体勢でセックスしながら
ナイチンゲールに
愛の告白をした

可愛すぎるっ!!

ナイチンゲール
大好きだ!!

結婚したら毎日
セックスしようね!!

中に出しながら
プロポーズする
人がいるか…バカ

だ…
だから…

五時間後

ああ…
気持ちよかった

明日も頼むよ
ナイチンゲール

はい…
お任せください…

あなた…♥

肉便器のような
表情して返事する
ナイチンゲールを見て
更に興奮した俺は、
彼女を抱きしめ
何度も何度も犯した

冗談のつもりで
ブーディカに性欲処理の
手伝いをしてほしいと
言ってみただけ
まさか本当にやって
くれるとは

さあ、
お姉さんに
何して欲しい？

何でもいいよー
言ってみなさい

やっぱり…
最初はフエラね…

いいよ、

ぜーんぶ飲んで
あげるから
思い切り出して

す…

すごい
…!!

すぐに
出しちゃう

ブーディカは慣れた
口使いで俺のものを啜えて
俺は早くもイキそうだった

ああっ

いいい…
出る!!

喉の奥まで入れるように…
彼女は少し顎を上げ
そして舌で根元を舐めた

俺の肉棒全体は
彼女に暖かく
包まれていた
思い切り
ブーディカの口
内に出せた

ブーディカは俺と
恋人同士のように
口づけを交わし
胸を揉まれながら
俺のものを握って
上下に動かした。

俺は搾精されるように
何度もブーディカの
体の上に射精した

ああ...

まだ...
出る...

うん...
断ったら
可哀想よね...

ブーディカさん...
俺、入りたい...

彼女にリードされ
全身安心感に包まれ
とても居心地がよかった

はい、
どうぞ♡

出産経験あり
の中古まんこ
ですが...

これで
我慢してね

み

ち...

ブ…
ブーディカさん!!

ブーディカは
抵抗する様子もなく
嬉しそうに俺のチンポを
受け入れてくれた
俺が動いたたびに
彼女の中が締め付けてきた

了承を得る必要もなく
そのまま中に出した

ブーディカの子宮の中に
大量の熱い精液を
注ぎ込んだ
こんな長い射精は
初めてだった

待ちきれず
そのまま押入れ、
激しく動かした

ああ…!!

気持ちいい!!

そしてブーディカは
俺の上に跨ぎ
自らお尻を揺らして
更に精液を絞り出そうとした

あゝ

あゝ

体位を何度も変え
二人ともセックスを
満喫していた

あゝ

ぬぽ

ぬぽ

ぬぽ

どんな体位でも
ブーディカは
全力で応じてくれた

ミルミル

子宮口が肉棒を
吸い付き
俺はその中に
いっぱい注ぎ込んだ

何回したのは
もうわからない

あゝ

あゝ

気がついたら
ブーディカは
精液まみれになって

は♡

は♡

荒れた息を整えながら
蕩けた目で俺を見ていた

じゅわん...

その後俺のものも
キレイに舐めてくれた

やっぱり経験豊富な
お姉さんは
最高だと思った

ドクノ

欲しくなったら
お姉さんまたして
あげてもいいよ♡♡

顔に俺が出した精液が
付いているブーディカの
その言葉を聞いて、
俺はまた元気になってきた

魔力補充させてくれない
オルタちゃんには
令咒を使っておとなしく
させるしかなかった

似合うんじゃない？
すげえエロい

変態みたい
だね!!

殺す!!

この後絶対
殺してやる!!
マスター

怒ってるジャンヌ
もかわいいよ!
大好き!

な...!!
変なこと
言わないで...

うう...
なんで私が...
こんな格好...

まずは軽くいじって、
オルタちゃんが
苛つく顔を堪能する

はあ...

あ♡

キュン

耳元で恥ずかしい言葉を
囁きながら優しく
愛撫してあげると、
彼女もその気になってくる

オルタちゃん
のどこを弄ったら
気持ちよくなれる？

ちゃんと
教えて♡

だから…
全っ然…
気持ちよく
ありません…

変態マスター

口調は強気のままだったが、
体はかなり正直だった。
脚も開いてくれた。

ふちゃっ

ため♡

愛撫だけでイキ
そうだった

ジャンヌの体の
感度は最高に良く、

ため♡ため♡

イッ♡イッ♡





一時間後



イキそうで
イケない
臨界点にずっと
居たから

ジャンヌは
返事する力
すらなくなっ
ていた

痙攣する
ジャンヌを見て、
思わずその顔に
ぶっ掛けた

それでも俺は
舐め続ける

このまま続けと
彼女は本当に壊れて
しまうかもしれない

もうダメ…
イカないと
本当に死ん
じゃう…

はーっ

私の負け
です…

イカせてよ…
後は何しても
いいから…

イカせてよ…
イキたいよ…

イカせて
ください…
マスター…

お願い…

ビク

ビク

よくできました、
オルタちゃん、

思い切り
イッちゃって
いいよ！

ぢゅん

…!!

ん…





はああ...

いく...

はー

マスター...

何も聞かずに中に
出しちゃって...

もう...

う...

やっと...
イケた...

気持ちいいよ...

ドオ...

あんなに強く
締め付けられたら
抜けられない
じゃないか...

2回...

マスター...

さっき私の顔にも
掛けたでしょう

だから
2回...

え...?

私...
まだ1回しか
イッてませんので

これ...
フェアじゃない
でしょう...

.....
!!

オルタちゃん!!

彼女を壊すくらいの勢いで
全力で腰を振った

あの素直じゃない
ジャンヌが自ら
求めるなんて……

僕も我慢のをやめて
思いつき
後ろから挿入した

何度も出し入れした後
子宮口に
俺の精液を注入した

また♡
中に♡
精液♡

THE

ソファに押し倒し、抱きしめたまま犯すど

ジャンヌは嬉しそうに俺の腰を脚で挟んだ

彼女にキスを落としながら体内に精液を注ぎ込み

何度も何度も中に出し

オルタちゃんも何度も何度も絶頂した



時間を忘れて狂ったように
オルタちゃんとの
セックスを堪能した

毎回彼女の中に
出していた

彼女の子宮の
中は俺の精液で
いっぱい
何回分なのかは
もう数え切れなく
なった

オルタちゃん、
舐めてよ、

はい…
はい…

フェラもして
くれるなんて

普段のジャンヌからは
想像もできない
姿だった

ジャンヌも随分と
従順になっていた

マスターの
精液

ドロ…

俺の上に跨ぎ
豊満な尻を揺らした
とてもエロイ

気持ち…
いい？

マスター

子宮口が俺の亀頭を
強く締め付け
精液を求めていた

どうして…

お尻の初めても
俺にくれたあ

お尻
なのに…

どうしてこんなに
気持ちいいの…

マスター

マスター

オルタちゃん…
可愛すぎ…

愛しているよ
オルタちゃん

大好きだよ



本当に...
言わないと
ダメなんですか

お願い、
オルタちゃん

でも...
この格好...

興奮する
じゃん！

つ、次は
ないですよ



私は...
性処理サーヴァント
ジャンヌ・オルタ...

マスター...
専属の肉便器...

マスターに徹底的に
開発されたおマンコ
とお尻の穴も...

どうぞお好きにように
お使いください...♡

マスター
専用 → 精液
便所
正正 正正



これで
満足ですか？
私のマスター

期待の目をしながら
肉便器宣言した
ジャンヌを見て

俺は彼女をトイレに
連れ込み、
また10回くらい
犯してしまった

ご…ごめんなさい…マスター
私は…
身体が欲しがってるなのに…
素直になれない…
ドスケベサーヴァント…

この…
マスターに徹底的に開発された身体を…

24時間、いつでも…
どうぞお好きなようにお使いください…♡♡
マスターのオナホとして使ってください…♡♡♡

